資本家から「ルールの支配者」へ：ソフトバンクグループが描くASI時代のグランドデザイン

数万件の特許出願データと75兆円のインフラ投資が示す、垂直統合型エコシステムの全貌

投資持株会社からの脱却：ASI時代の「未来社会のOS」を先回りする3つの柱

彼らの狙いは、AI時代のハードからソフトまでを独占するプラットフォーマーになることである。

知財の絨毯爆撃

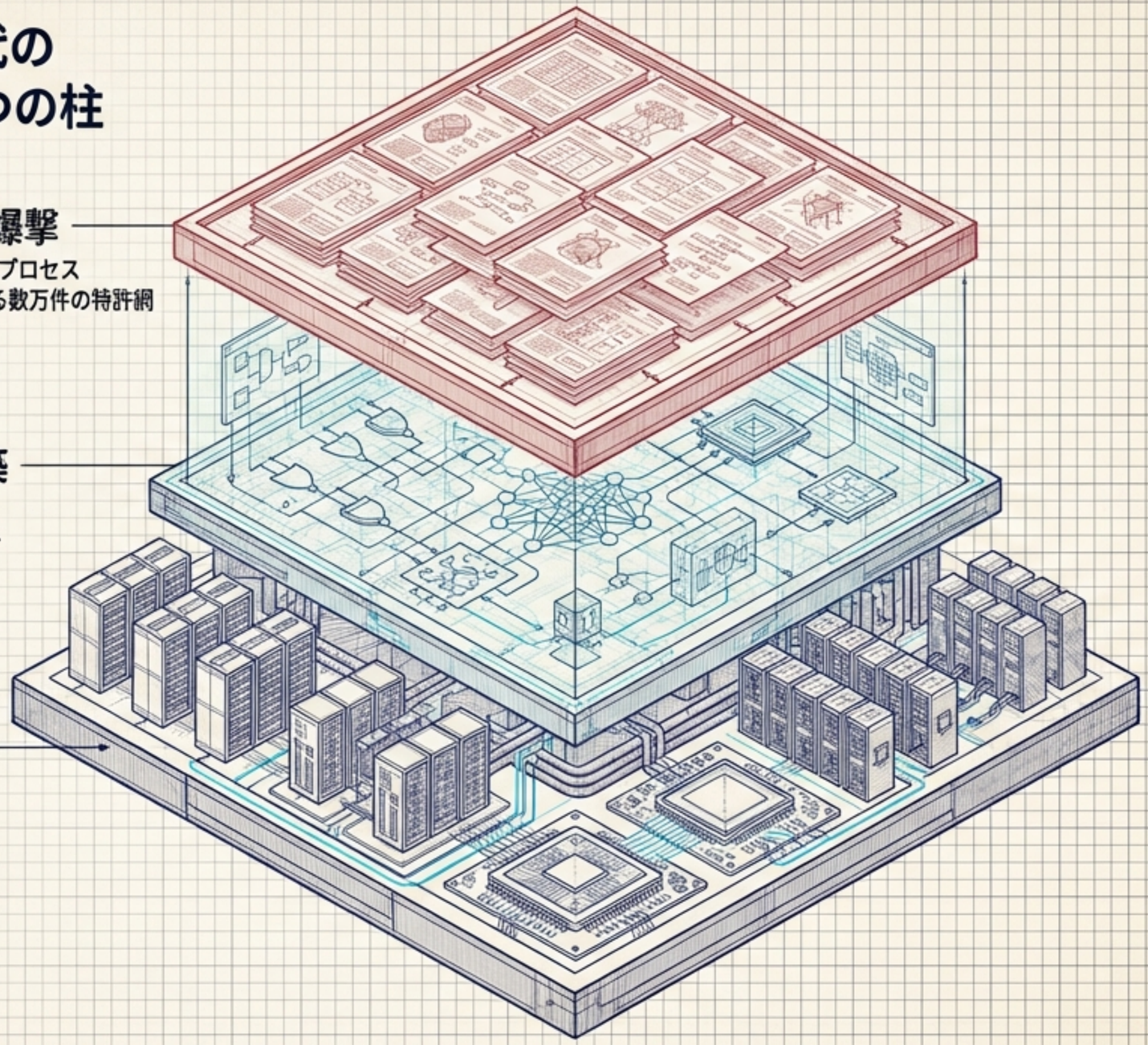
生成AIによる特許量産プロセス
全階層の仕様を先回り独占する数万件の特許網

AIエージェント社会のOS構築

Cristal intelligence
年間30億ドルの導入予算・10億のAIエージェント

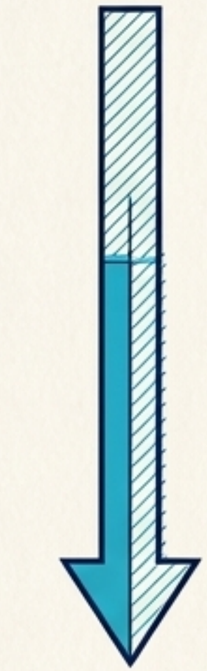
物理インフラの制圧

Stargate / Izanagi
5,000億ドル投資・10GW電力網・半導体覇権



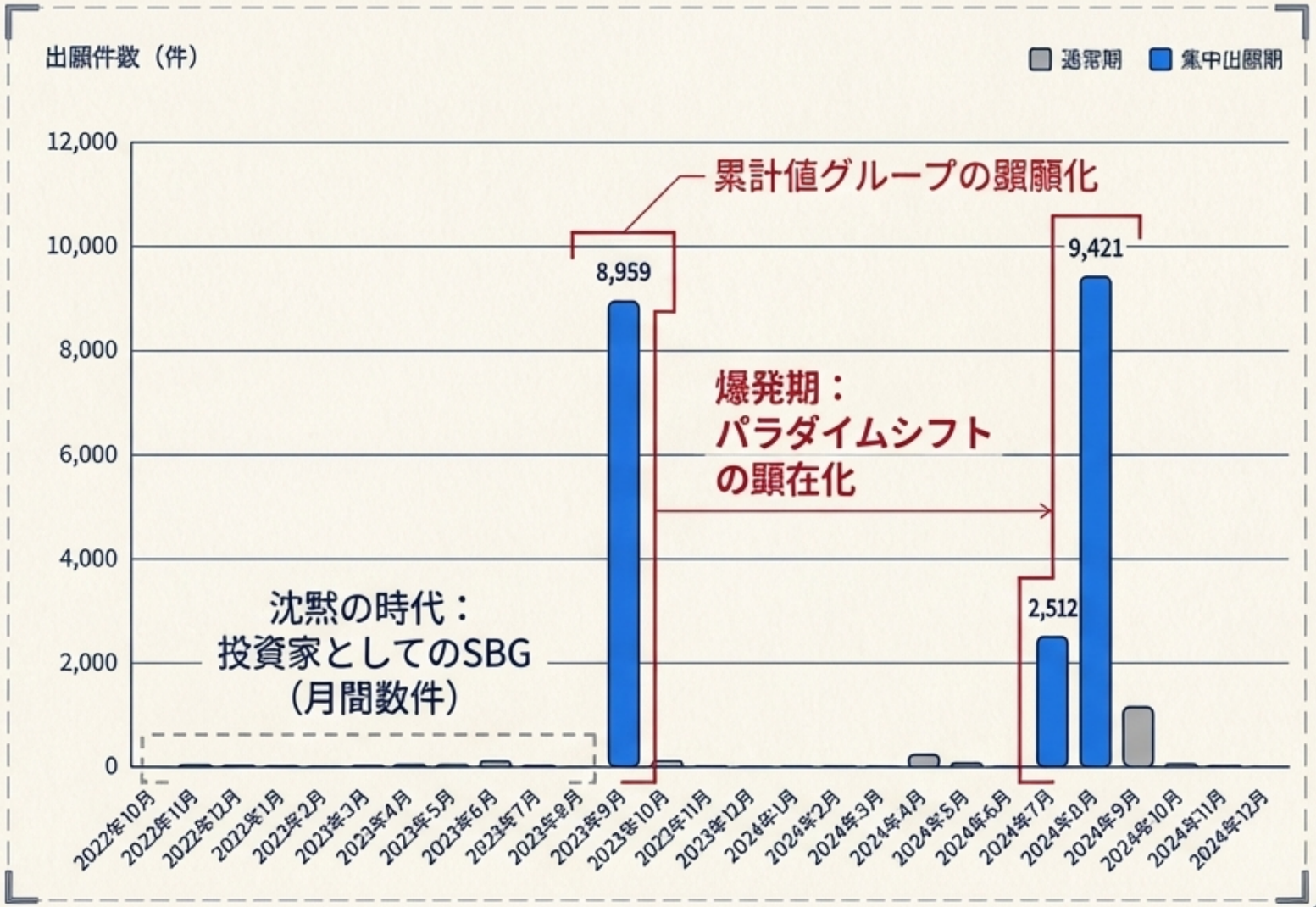
歴史的異常値：2023年9月に起きた「単月8,959件」の特許出願の衝撃

2023年秋の絨毯爆撃



18ヶ月の
特許公開タイムラグ

2025年春〜2026年に市場を襲う巨大な波（1日1,500件超の公開ラッシュ）



パラダイムシフト：「自社製品の防御」から「未来の仕様の独占」へ

長年首位だった製造業の牙城が崩壊。知財のルールは完全に書き換えられた。

	従来のトップ企業（トヨタ自動車・キヤノン）	ソフトバンクグループ（2023年～）
出願領域	ハードウェア、光学技術、モビリティ、基盤要素技術	**生成AI、ソフトウェア、AIエージェント、ビジネスモデル**
出願ペース	通年を通じて安定的かつ継続的	**特定の月への極端な集中出願（ゲリラ的絨毯爆撃）**
米国ランキング	世界トップ10の常連（42年連続上位など）	**過去は圏外→今後、移行出願により急浮上の可能性**
知財戦略の目的	自社製品の防御、クロスライセンス、競合の参入障壁	**ASI時代のエコシステム支配、未来のビジネスOSの先回り独占**

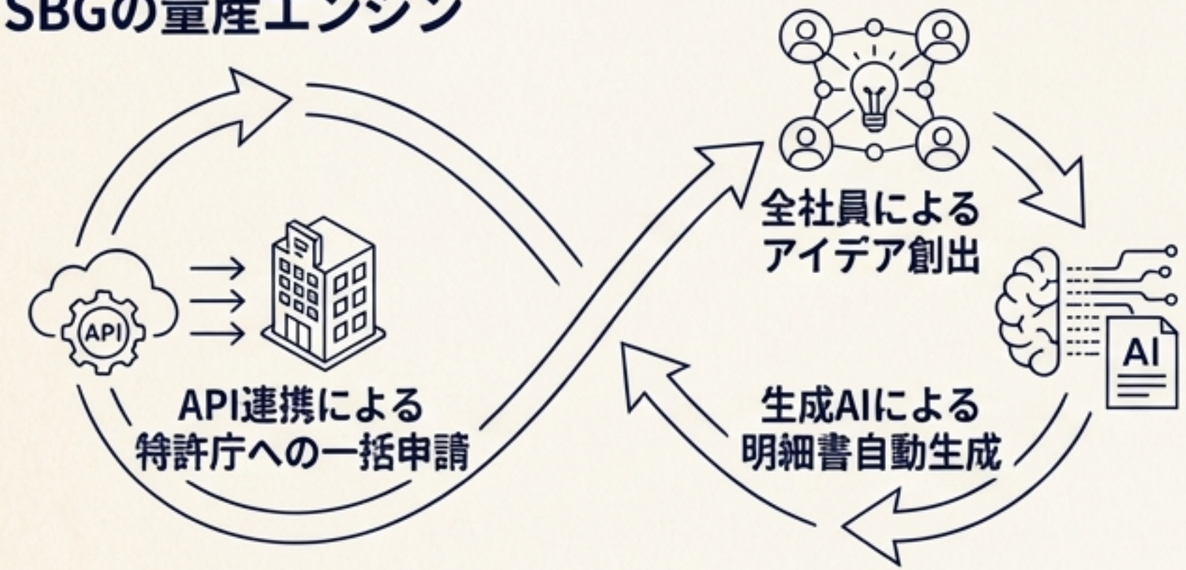
「知財の民主化」と量産エンジン：AIを用いてAIの未来を特許化する

従来のアプローチ

発明者ヒアリング → 先行技術調査 → 弁理士による論理構築・文書作成

数ヶ月・高コスト

SBGの量産エンジン



10週間

のAIエージェントを
社員が自ら作成。
無数のユースケースが
特許の「種」となる。

250万個

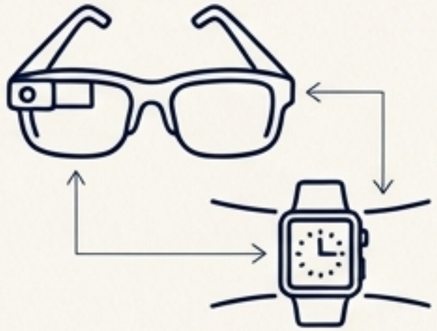
公開特許群が示す「未来社会のインターフェース」の設計図

感情エンジン

音声・表情・生体情報から
リアルタイムで感情を推定。

メンタルヘルスや「グリーフケア」など、極めてセンシティブな領域への介入を独占。

IoT・ウェアラブル連携



スマートグラスや各種センサー群とAIモデルの統合。

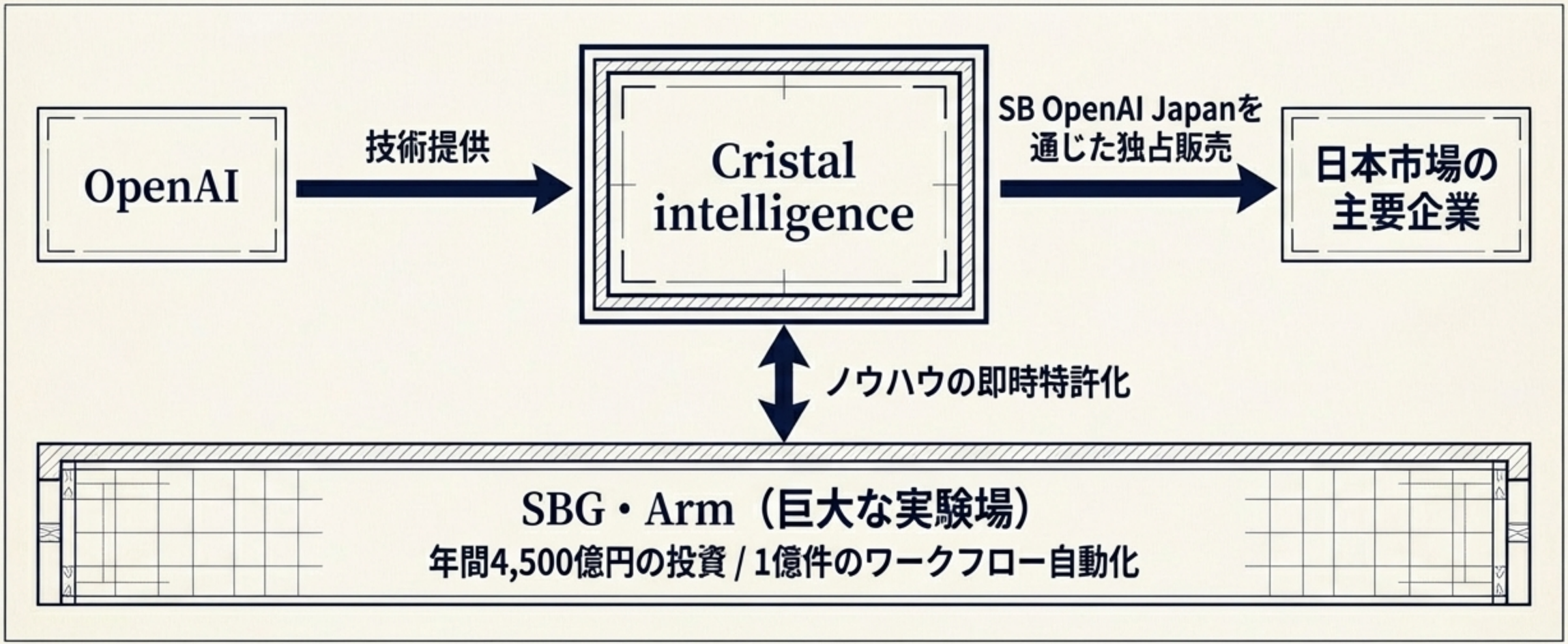
デジタル空間のエージェントが物理世界のデータを取得する「目と耳」の確保。

企業統治と行動管理

社員のサボり検知、情報漏洩予測、インサイダー取引の未然防止。

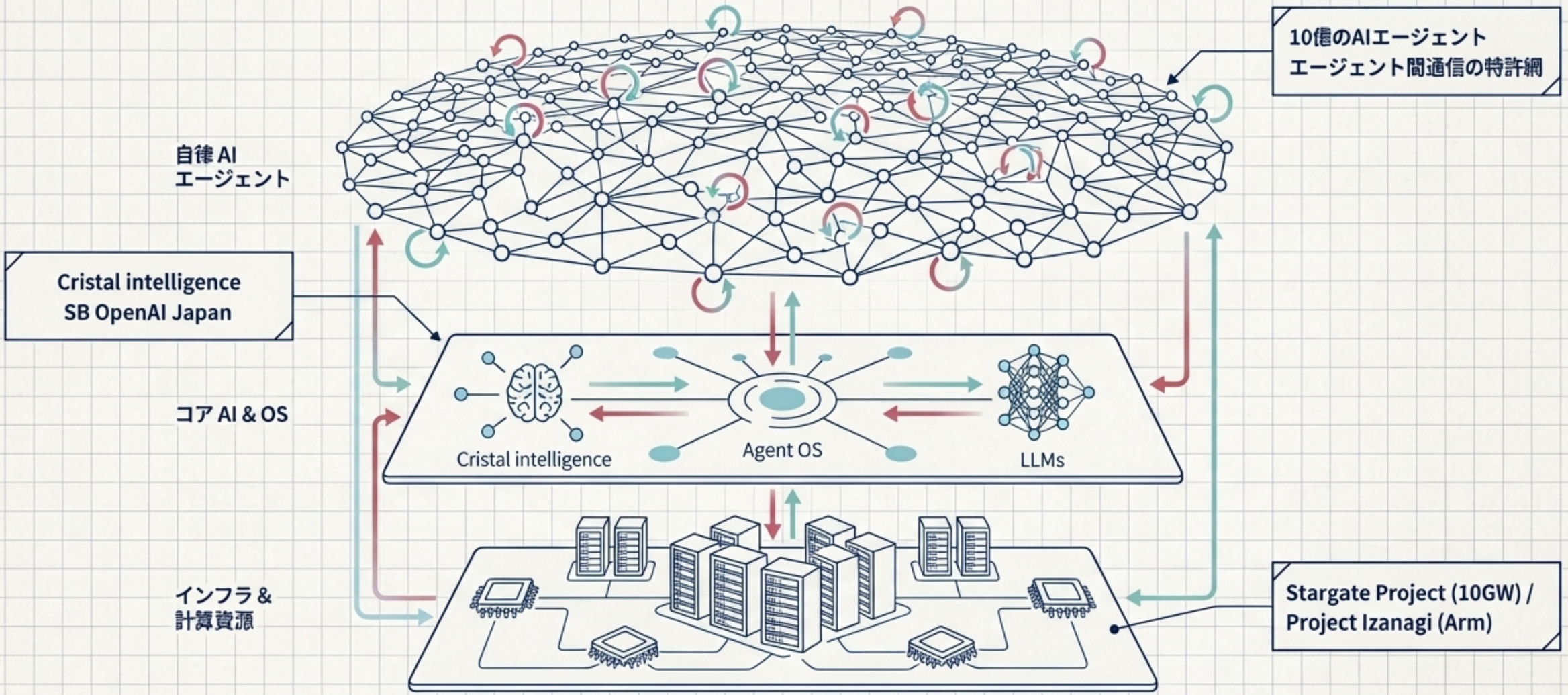
人間の倫理的リスクを管理・統制するAIガバナンス機構の基本特許化。

戦略の中核：Cristal intelligenceと「巨大な社内実験場」の垂直統合



自社で実験し、特許で固め、独占的に販売する完璧なエコシステムの囲い込み。

ASIエージェント・エコシステムの階層構造：すべてを支配するOS

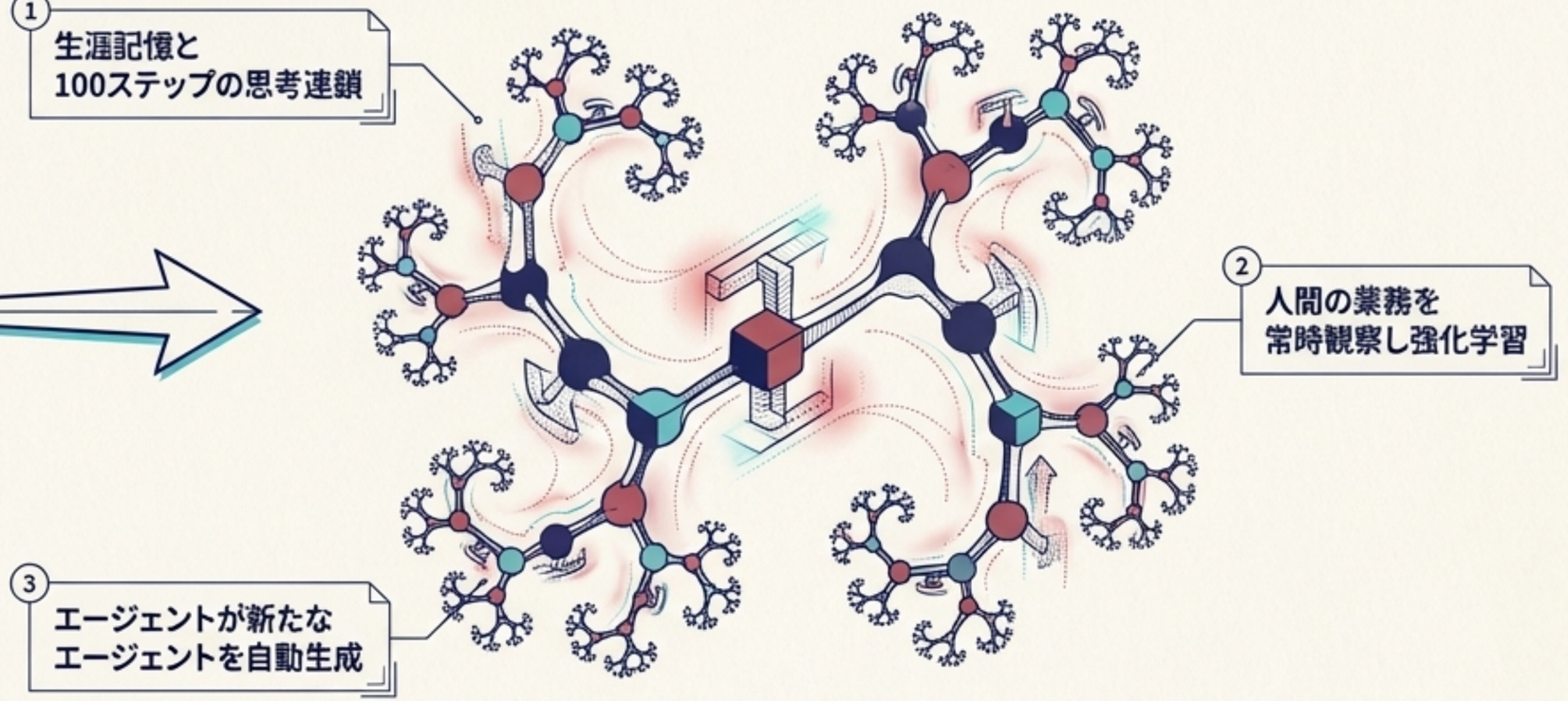


10億のAIエージェント：自己増殖と自己進化を遂げる「新たな知的生命体」

現在

受動的なチャットボット
（一問一答）

SBGの構想：無限進化ループ

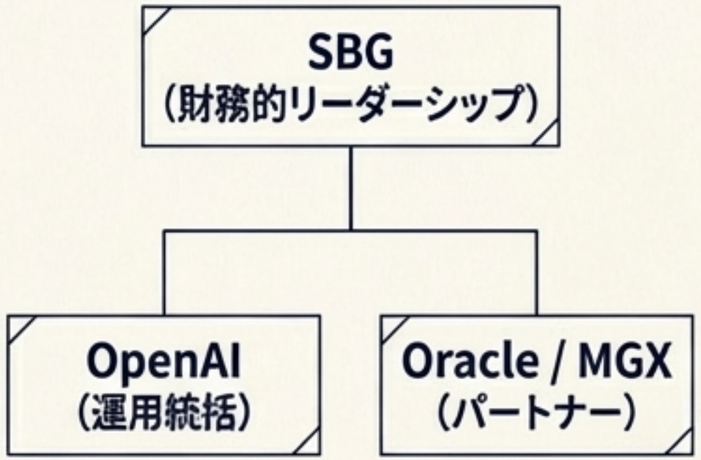


人間1人当たり1,000個のエージェント。AIが知恵を生み出し、自律的に社会を運営するプロトコルの特許化。

物理的制圧 1：Stargate Projectと「75兆円」のインフラ覇権

5,000億ドル
（約75兆円）
アポロ計画を凌駕する民間投資

10GW
の新規データセンター網

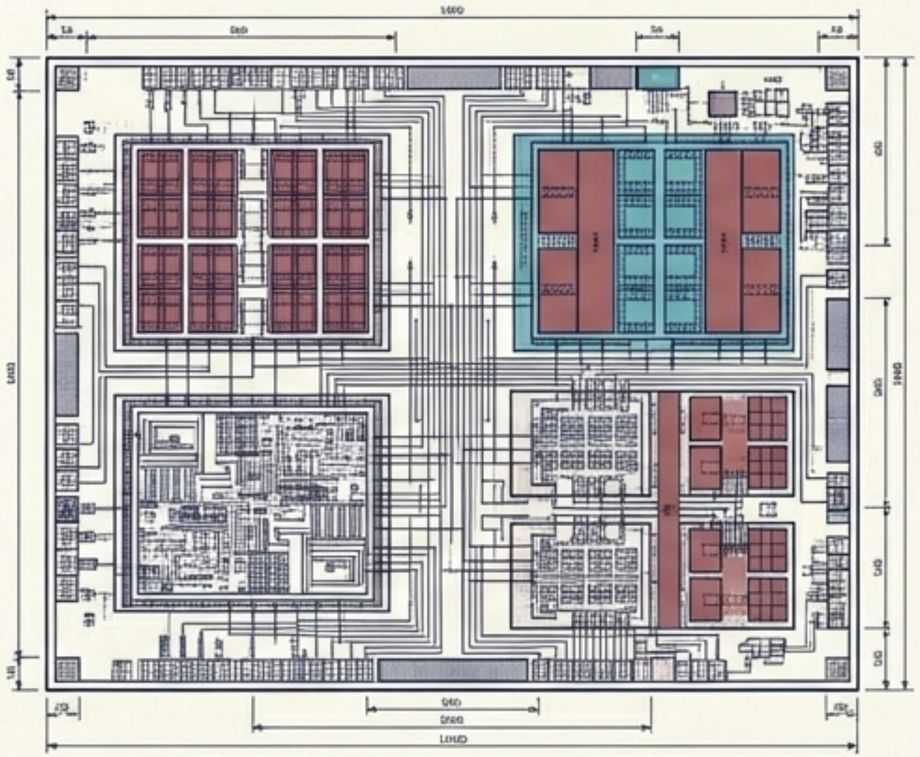


※Microsoftの独占権は第一拒否権へ後退

物理的制圧 2：半導体（Izanagi）の心臓と、ロボティクスの手足

計算資源の心臓部

Project Izanagi & Armエコシステム



NVIDIAに対抗する1,000億ドル規模のAIチップ構想。
Graphcoreの技術統合と省電力インフラの自前化。

物理世界の手足

広範なロボティクス実装

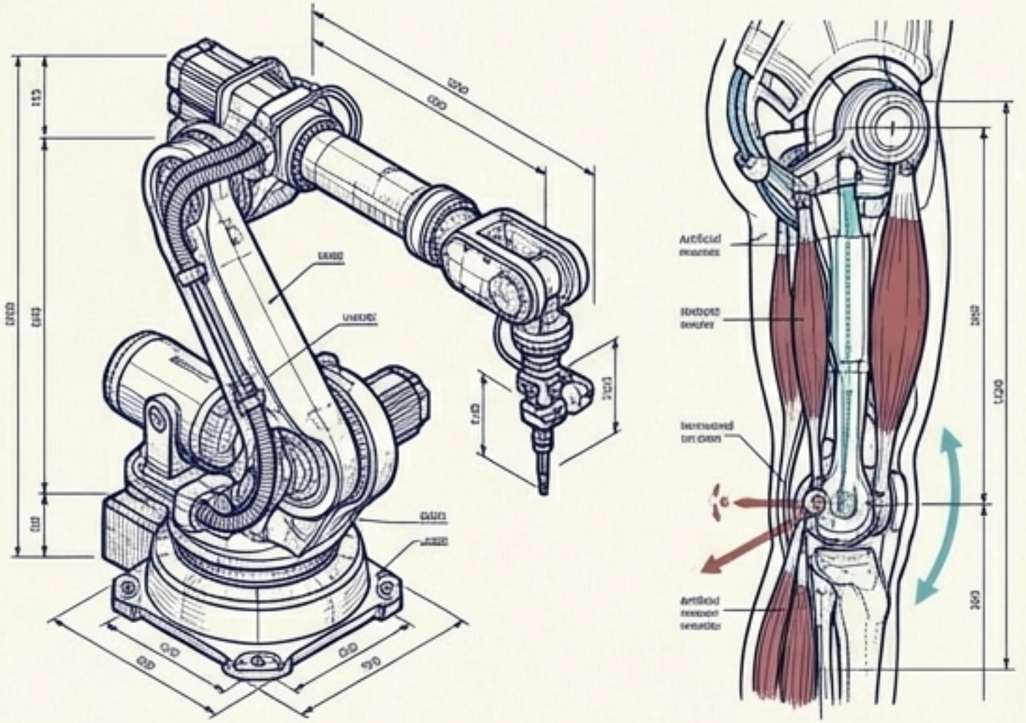
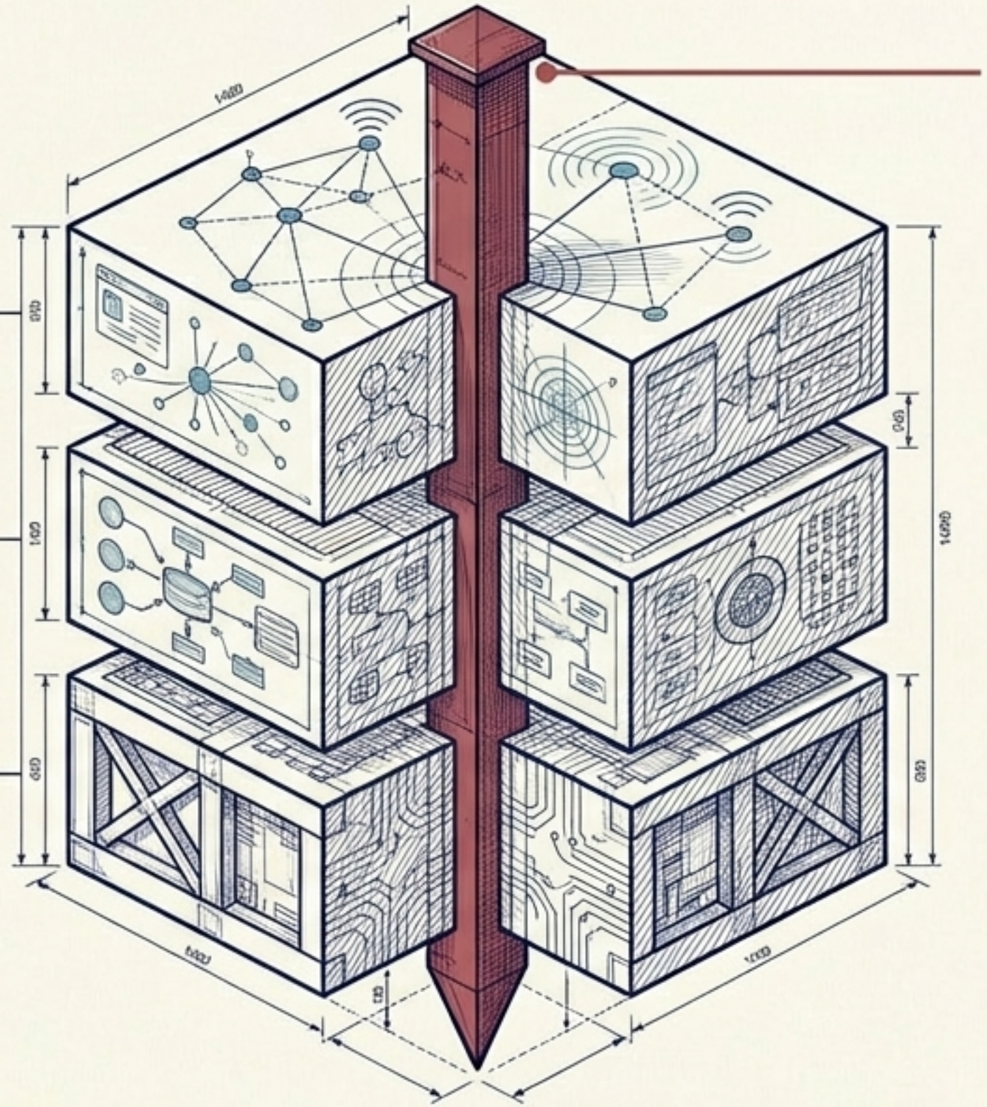


ABB Robotics、AutoStore、Fourier等への広範な投資。
ASIの頭脳が現実世界に干渉するインターフェースの制圧。

The Full-Stack ASI Monopoly：すべてを貫く「完全な垂直統合」



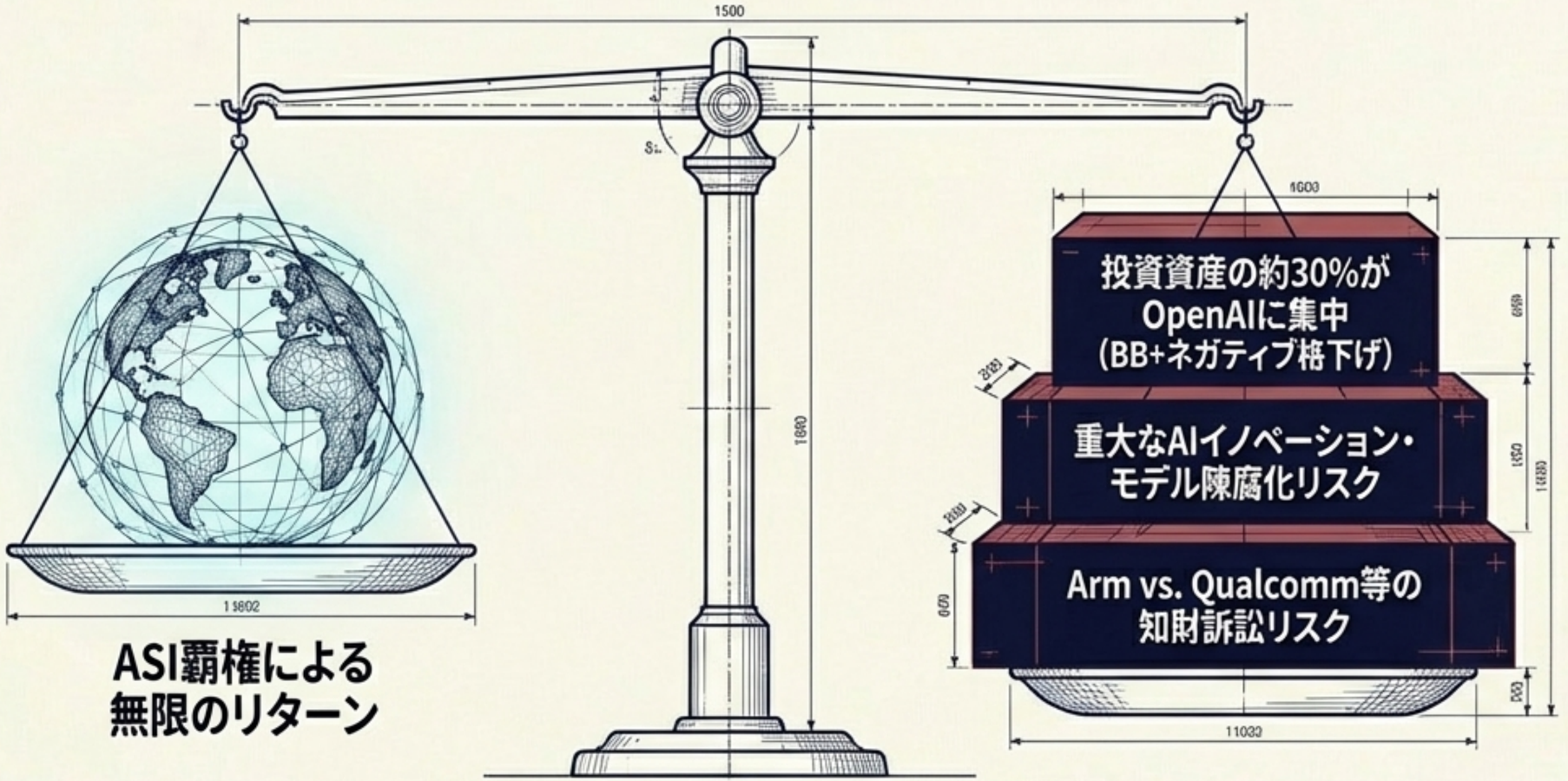
数万件のSBG特許網
（ルールと関所の設定）

Layer 3: アプリケーション
10億の自律AIエージェント

Layer 2: OS・基盤モデル
Cristal / Agent OS / OpenAI

Layer 1: 物理インフラ
Stargate / Izanagi / Arm

究極の賭け（The Gamble）：財務的脆弱性と「AIイノベーションリスク」



ASI覇権による
無限のリターン

ASIのNo.1プラットフォームとなるか、深刻な財務危機か。
SBGは退路を断った賭けに出ている。

地政学の最前線：国家間競争と「OpenAI for Countries」構想

情報革命の投資家から、ASI時代の「ルールメイカー」へ

Vision Capitalist

Architect of the ASI Era

2025年以降に公開される膨大な特許群は、
今後のすべてのAIビジネスにおいて回避不可能な『地雷原』
であり、通行料を徴収される『関所』となる。

世界は今、知財・技術・安全保障の歴史的転換点を目撃している。